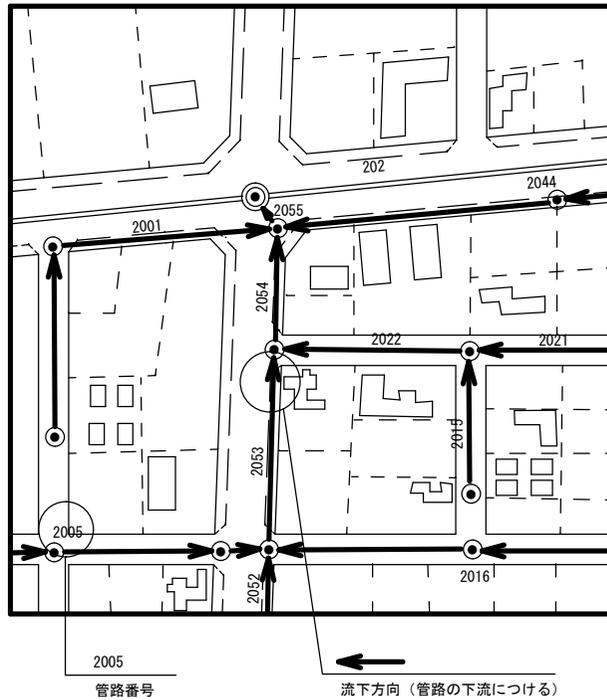


# 大分市公共下水道台帳作成要領

大分市公共下水道台帳作成要領(1)  
(凡例)

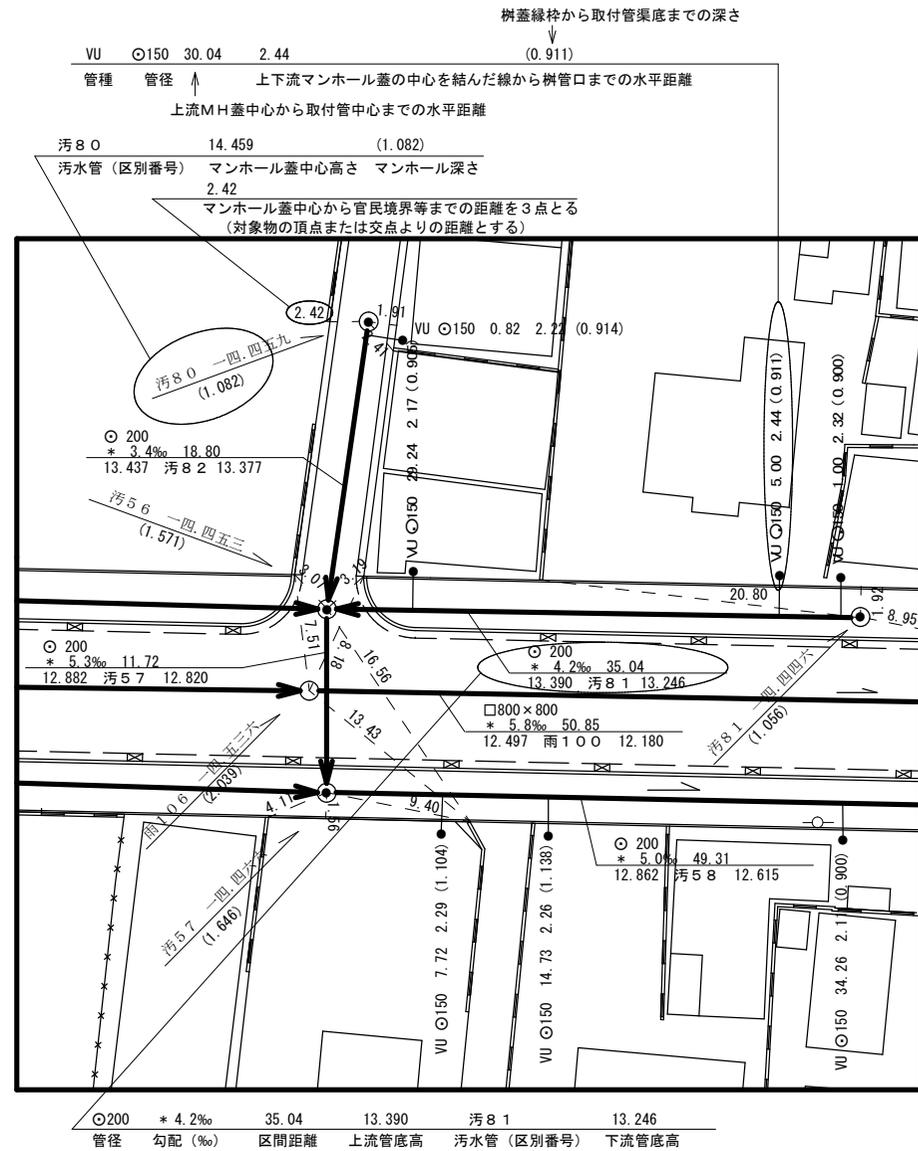
種類	記号	適用	種類	記号	適用
幹線管渠		123 { 管路番号 1/2500位置図に記入 }	汚水樹(200)		
枝線管渠		1234 { 管路番号 1/2500位置図に記入 }	雨水樹(200)		
取付管渠			汚水樹(330)		
第0号マンホール		内径 75cm 円形	汚水樹(500)		
第1号マンホール		内径 90cm 円形	汚水樹(700)		
第2号マンホール		内径 120cm 円形	汚水樹(900)		
第3号マンホール		内径 150cm 円形	雨水樹(□350)		
第4号マンホール		内径 180cm 円形	雨水樹(□500)		
第5号マンホール		内のり(法) 210×120cm角形	集水樹(L型)		
特1号マンホール		内のり(法) 60×90cm角形			
特2号マンホール		内のり(法) 120×120cm角形	雨水吐き室		
特3号マンホール		内のり(法) 140×120cm角形	吐き口		
特4号マンホール		内のり(法) 180×120cm角形	圧送管		
小口径マンホール		内径 30cm 円形	地盤高	○.○○○(少数第3位止)	漢数字
楕円マンホール		内のり(法) 60×90cm楕円型	管底高	○.○○○(少数第3位止)	
特殊マンホール	真形表示	個別にA3判に構造図作成	勾配	○.○% (少数第1位止)	$\frac{\text{管底高差}}{\text{管渠長}} \times 1000$
伏越マンホール		個別にA3判に構造図作成	区間長	○○.○○(少数第2位止)	
副官付マンホール			円形管	○.○○○ (直径)	
振り分けマンホール			ボックスカルバート	○○○×○○○ (幅×高さ)	インバート付
その他		点検孔及びボックスマンホール	ボックスカルバート	○○○×○○○ (幅×高さ)	インバート無
			三方張水路	○○○×○○○ (幅×高さ)	
			三方張水路		

位置図 (S=1/2,500)



※ 基準点については、大分市公共下水道事業に伴う基準点台帳により行うものとする。

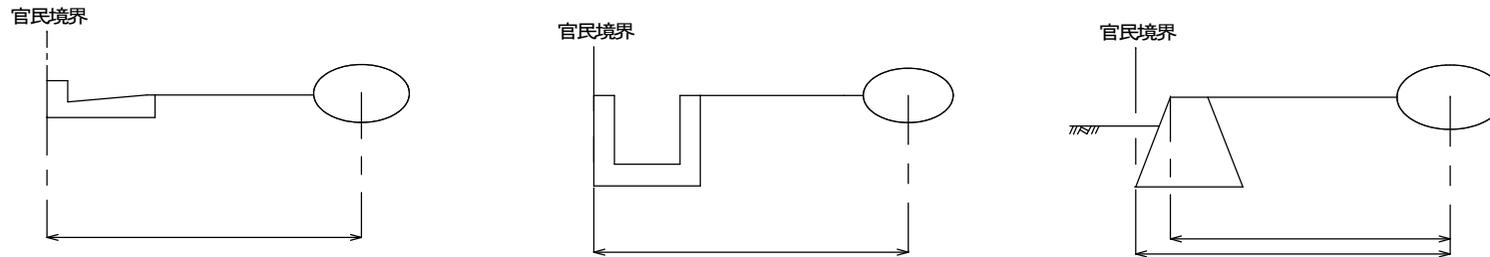
平面図 (S=1/500)



マンホール特性

項目	単位	表示桁数	算出桁数	備考
MH蓋中心高	m	少数第3位止め		
三点距離	m	少数第2位止め	少数第3位四捨五入	MH蓋中心から官民境界等までの距離を3点とる(対象物より鉛直距離とする)※1
上下流管底高	m	少数第3位止め		

(※1) 既設建築物例



管特性

項目	単位	表示桁数	算出桁数	備考
勾配	‰	少数第1位止め	少数第2位四捨五入	※2
区間距離	m	少数第2位止め	少数第3位四捨五入	MH中心間水平距離

(※2) 算式

$$\text{勾配} = \frac{\text{上流管底高} - \text{下流管底高}}{\text{区間距離} - \frac{1}{2} \text{上流MH内径} - \frac{1}{2} \text{下流MH内径}} \times 1000$$

(注) 塩ビマンホール施工区間についても上式を用いて算出すること。(塩ビMHについては内径差引はおこなわないこと)

公共樹特性

項目	単位	表示桁数	算出桁数	備考
上流MHから	m	少数第2位止め	少数第3位四捨五入	※3
本管中心から	m	少数第2位止め	少数第3位四捨五入	※4
ます蓋縁枠から	m	少数第3位止め		※5

(※3) 上流MH蓋の中心から取付管中心までの水平距離

(※4) 本管中心から樹管口までの水平距離

(※5) 樹蓋縁枠より取付管底までの深さ

